

2024 年度近畿本部化学部会活動報告と 2025 年度計画

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2024 年度（昨年度）活動報告

昨年度は、感染症収束にともなう緊急事態の措置が解除されて 2 年目となり、新たな常態との取組としてハイブリッド開催とリアルのみの開催も行いました。

部会活動においては、2025 年大阪・関西万博への準備を意識して、イノベーションの発揮、化学技術力の発揮、デジタル技術の取り込み並びに本気のカーボンリサイクルを考えるテーマに取り組みました。

主な事業活動である CPD 講演会・見学会・勉強会は、開催回数は 5 回と前年度と同規模となりました。見学会は講演会と合同にして開催再開ができました。

4 月総会記念講演や 10 月例会では外部講師から「日本あるいは地域のイノベーション」について講演をしていただきました。12 月例会では内部講師から具体的な取組の紹介と技術討議を行いました。

近畿の農林・繊維・環境研あるいは統括の金属・資源など他の部会・研究会との合同講演を継続しました。メインテーマとして、健康・環境・安全に係わるテーマを取り上げました。特に、CO2 分離回収技術とそれに引き続く有効利用技術について、近畿の組織から得意分野を展開して、パネル討議にて未来技術の構想を技術評価する試みは、統括の合同講演にもつながるテーマになりました。

参加者数は、CPD 講演会 5 回 59 名（会員 55 名）でした。なお、昨年度は 5 回開催で参加総数は 65 名（会員 60 名）でした。参加数減少が続いているため、近畿本部同報メールの活用などメール案内者数増加の取組をしました。

幹事会活動は、部会活動の充実を図る活動方針（継続）のもとに実施しました。

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、合同講演会・見学会のメインテーマ決めに支援しました

会計では、CPD 行事の都度、会計の進捗報告づくりをしました

報告では、近畿編集室の要請を受けて編集技術の向上に務めました

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

協賛団体強化委員会主催セミナーに講師派遣をしました

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

統括の化学部会幹事会と下記のテーマで協議しました

『化学物質管理研究会』近畿支部への会計監査を支援

『日本化学会春季年会』（2025 年春は関大）への協力体制

『近畿本部化学部会設立 50 周年行事（2026 年）』への協力体制

近畿本部環境研等と下記のテーマで協議しました

『本気のカーボンリサイクルを考える』テーマへの協力要請

2. 2024年度会計収支報告（HP 掲載は割愛）

- ・ 会計監査報告、2024 年度会計収支報告

3. 2025年度活動方針

- ・ 部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・ 協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・ 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
 - 未知の領域への対応
化学技術力の発揮とカーボンアップサイクルの取組
 - 新たな常態に向けて
未来技術・イノベーションと化学物質管理・評価技術の支援

4. 2025年度幹事会メンバー一覧

- ・ 齋藤俊 部会長
- ・ 高岡直樹 副部会長 会計幹事 企画担当 MOC S 研幹事
- ・ 中田将裕 副部会長 報告担当 企画担当
- ・ 藤橋雅尚 報告担当
- ・ 橋本隆幸 報告担当
- ・ 濱崎彰弘 企画担当 環境研幹事
- ・ 島野紘一 企画担当 会計副担当 MOC S 研幹事
- ・ 堂動剛 企画担当
- ・ 久保田正博 報告担当
- ・ 伊藤雄二 (委嘱) 業務監査役 顧問 近畿本部幹事 化学部会幹事
- ・ 和田信之 (委嘱) 会計監査役
- 《新任》
- ・ 西岡亮太 報告担当 企画担当
- 《退任》
- ・ 末吉俊信 (委嘱) 業務監査役

以 上